

各専門領域（科目）での看護実践能力の育成とは

領域	どんな看護実践能力
基礎看護学	<p>主担当の科目について書きます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護過程→基礎知識を活用して模擬事例患者の看護過程の展開ができる ・フィジカルアセスメント→身体査定の技術を使いながら必要な援助について考察できる（臨床推論を含む）
基礎看護学	臨床判断、そして実践、評価できる力
基礎看護学	<p>情報収集・アセスメントから評価までの看護展開能力</p> <p>臨床判断能力</p> <p>看護ケアの実践能力</p>
基礎看護学領域	<p>臨床判断能力</p> <p>先見性、コミュニケーション能力、時間管理、危機管理、自己学習能力、主体性、積</p>
基礎看護学領域	<p>①対象をホリスティックに捉えて看護過程というツールを使って看護問題を抽出し看護実践を行うことができる</p> <p>②臨床判断力の気づきの段階を習得することができる。</p>
基礎看護学領域	基本的なフィジカルイグザミネーションを実施し、得たデータに基づいてアセスメントができる
小児看護学	まず、第一印象〔パット〕で判断できる力
小児看護学	まずは、パットでその状況を判断する力
小児看護学領域	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもも健康レベル発達段階に合わせた援助的人間関係を築くことのできる看護実践能力 ・疾患や障がいのあるこどもと家族の特徴を理解し、こどもと家族のありたい姿を支えることのできる看護実践能力 <p>今も悩みながら、シラバスを作っています…。</p>
小児看護学領域	<ul style="list-style-type: none"> ・対象の身体的アセスメント能力、成長発達能力、日常生活機能などを総合的に捉える ・事前情報から、ベッドサイドでの情報収集、臨床判断を行う能力 ・基礎的な看護技術を、対象の特性に合わせて適切に提供する能力 ・子どもと家族の相互作用を捉え、ニーズを把握する能力
小児看護学領域	<p>①小児看護学領域</p> <p>②小児の成長発達に合わせた看護実践能力、臨床判断能力を身につけてほしい</p>

領域	どんな看護実践能力
成人（急性）	<p>周術期：</p> <p>術前：手術を必要としている患者の全体像を掴む能力</p> <p>術後：術後の状態把握（まずはバイタルサイン、全身状態） 状態をサマライズして報告</p> <p>術後の患者状態に合わせた日常生活支援退院に向けた支援：退院に向けたニーズ アセスメント</p> <p>全体：周術期の看護展開能力（進行に合わせる）</p>
成人看護	臨床判断、対人の理解
成人看護	<p>災害看護</p> <p>①災害時の被災者ニーズ・ヘルスアセスメント</p> <p>②災害の危機管理（病院の備えなど）</p>
成人看護学	<p>看護過程を展開する能力</p> <p>臨床判断能力</p> <p>コミュニケーション能力</p>
成人看護学	観察力 アセスメント力 技術力 コミュニケーション力 姿勢 態度
成人看護学	<p>病態を捉えた上での対象に必要な看護ケア</p> <p>コミュニケーション技術からの情報収集能力</p> <p>ベッドサイドでの観察、アセスメント能力</p>
成人看護学（急性）	情報収集 判断 実践 評価
成人看護学慢性期領域	疾患に対する自己管理能力の必要性を患者さんから導き出すためのコミュニケーション能力
成人看護学領域	臨床判断能力、フィジカルイグサミネーション
成人看護学領域	<p>健康状態の急激な変化から回復期に至る患者の看護過程を展開できる</p> <p>救急/クリティカルな状態、回復期に至る患者に必要な看護技術（患者観察、患者指導）を実践できる</p>
成人看護学領域	<p>臨床判断能力</p> <p>看護過程展開能力</p>
成人領域	<p>看護師のようにベッドサイドで気づき、判断し、援助につなげるといった臨床判断能力を育成したい。</p> <p>理由は、卒業生が「学校で習ったことは使えない」といった意見や、学生時代では、考える力があつた卒業生が、実践ができず離職をしまっている状況があるからで</p>
精神看護学	アセスメント
精神看護領域	事例、DVDなど患者をみて、メンタルアセスメント、セルフケアアセスメントを行い、関りやコミュニケーションを考える学習をしています。
母性	母子の相互関係も見ながら母子を1組としてフィジカルアセスメントができる

領域	どんな看護実践能力
臨床にありますが、クリティカルケア領域、急性期領域	既知の知識や経験に基づく臨床判断能力の育成、臨床推論に紐づいた意思決定（多職種への報告）
	対象者の特性やニーズを踏まえ、健康問題解決のために必要なアセスメント、健康問題の明確化、計画立案ができ、実施・評価・修正を行いながら展開する能力
	患者の状況や状態を観察して、アセスメントし、どのような関わりや援助が必要か、判断し、看護を実践できる能力
	病気を持っているAさんではなく、Aさんには病気がある、という視点を忘れずに、高齢者を生活者として捉え、療養中の高齢者に必要な支援は何かを考えることができる看護師を育成したい。